

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・乗客数はさほど変わっていないが、客の買上点数や高単価商材の購入によって、良くなっている。
		家電量販店（営業担当）	それ以外	・キャッシュレスサービスの利用フェアの影響が大きく、高単価商材が売れ、前年比では190%と威力があった。ただし、販促が終了したら、前年並みの動きになってしまっている。
		都市型ホテル（営業）	来客数の動き	・12月は宿泊の伸びが特に良い。また、宴会も前年実績を上回る予定で、トータルでは今までで一番の売上となる見込みである。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・売上は前年比103%、来客数は同102%で推移している。売上増は商品の値上げによるところが大きいですが、来客数も102%で推移しているの、やや良い。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・3か月前は店舗リニューアルで20日ほど休業していたため、それと比べればやや良くなっている。
		衣料品専門店（販売担当）	販売量の動き	・今月に入って、年金支給月ということを除いても、多少コンスタントに販売量が伸びている。ただ、これも予断を許さず、どこでどういふふうに冷え込むか分からないが、今月に限れば、今までよりも幾分客の動きが実売につながっているようである。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ずっと前年割れしていた来客数がやや回復している。暖冬の影響もされないが、上向きかけているのかもしれない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は、忘年会の時期で週末は忙しかったが、平日はいつもと変わらずひっそりとしている。「忘年会の回数は例年より少ない」と客から聞いている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・夏以降は週末を中心に天候も安定し、暖かい日が多かったことから、来園者数が伸びている。
		ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・来場者は月別で、7月3,994名、8月3,991名、9月3,557名、10月4,550名、11月3,712名、12月の見込みは1,999名と、12月は前年比プラス356名である。暖冬の影響で、入場者数は前年に比べて増加している。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・師走だというのに、当店に關係する原料価格は、例年と違って、値上がりどころか、値下がり傾向で売行きは悪い。他の業種にも影響があるようで、年末売出しをしているが、正月用品の動きが悪い。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・今一つ、品物が動かない。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・お歳暮、クリスマス商戦共に低調な結果に終わっている。特段、突出した好不調の商品群も見当たらず、依然として厳しいままである。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・新規のイベントを行うなどしたが、前年と比べて売上増にはつながっていない。婦人衣料は気温の低下に伴ってやや売れ始めた感があったが、すぐに失速している。紳士衣料は久々の好調を維持している。店全体では3か月前と大きくは変わらない。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・暖冬により、食料品価格は上下に振れ幅が大きい上に、重衣料などの動きも鈍い。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・暖冬の影響もあり、衣料品の不振が続き、前年に比べて売上は悪い。9月くらいから衣料品を中心に悪い状況で、気温が例年どおりにならないと厳しい。
	スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・客単価の落ち込みが続いている。カテゴリー別の売上推移に大きな変化はないが、価格訴求と人手不足感は変わらない。	
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・暮れを迎え、クリスマスケーキの予約状況等は、良くも悪くもないと感じている。株価が下落したりというところで、何となく冷え込みも感じる。	
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・半年くらい前から、新車、中古車共に、そこそこ台数は出ている。車検等の入庫も入っているが低水準である。決してこなしきれないほどの整備が入ってくるとか、対応できないほど新車、中古車販売の話があるということはない。	

住関連専門店 (仕入担当)	来客数の動き	・今月は初月までの暖冬傾向から一転し、寒波の到来で冬物商材の動きがようやく活発化し、前年に近い数字まで持ち直している。ただ、業態を越えた競合の状況は続いており、新規出店攻勢は止まらず、消耗品価格の下落につながっている。
その他専門店 [靴小売業] (経営者)	単価の動き	・景気の問題よりも暖冬の影響で、買い控えが起きている。単価が下がっている原因も同様である。
その他専門店 [燃料](従業員)	販売量の動き	・受注は変わらない状況で推移している。
その他飲食[給食・レストラン](総務)	お客様の様子	・給食業務の取引先には自動車関連も多いが、国内外共に、先行きの読みにくい状況となっており、間接的に影響が出てくる懸念もある。
都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・販売量の動きでみると、通年では12月までの稼働率はそれなりに高く、今月は70%中盤くらいの稼働で、悪くはないが、思ったよりは高くなく平均的である。例年と比べて少し低い感じもするが、稼働率は11月までずっと、例年よりも良い状況で伸びてきていたので、今月だけ落ちたからといって、悪くなっているというような判断まではできない。
都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・クリスマスはディナーを中心に盛り上がりを見せていた。一部客室のメンテナンスで予約減があったものの、インターネット予約は好調で、売上の穴埋めになっている。
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・年末年始の申込数は、ほぼ前年並みで増加がみられない。
タクシー(役員)	単価の動き	・人手不足である。
通信会社(経営者)	販売量の動き	・相変わらずの不景気で、年末といえども販売量に変化はない。
その他サービス [自動車整備業](経営者)	お客様の様子	・今月はボーナスが出たようだが、その影響が価格に反映されない客がほとんどである。この傾向は3か月前とも変わらない。ボーナスが出た時点の変化が、前年に比べて、かなり悪化している。
設計事務所(所長)	お客様の様子	・金額を優先する客の動きを感じる。
住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・今月に入って、ほとんど動きがない。貸店舗、貸家、土地等も引き合いが少なく、非常に低迷している。
商店街(代表者)	お客様の様子	・もうすぐお正月という雰囲気を実感しない例年でない年末である。商店街は相変わらず人出が少なく寂しい。今年で店じまいする店が増えそうである。
一般小売店[衣料] (経営者)	販売量の動き	・毎日天気が良いが、寒い。
百貨店(副店長)	来客数の動き	・改装から1年が経過し、来客数の増加が踊り場状態となっている。
コンビニ(経営者)	お客様の様子	・12月は雪が少なく、スキー場へ向かう客の来店数が少し減っている。そのため、多少売上が下がっている。
家電量販店(店長)	それ以外	・暖冬のため、季節商材の売行きが低調である。
乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新車販売、車検等の整備売上など、全般的に落ち込んでおり、近年で最も低い12月である。努力不足なのかと思ってしまう。
自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・例年の年末、11~12月にはあり得ないほどの客足の悪さである。また、販売量や客の購買意欲も余りない。通常なら11~12月のいずれかには、ある程度の大きな山が期待できるが、今回に限ってというか、このところそういうことがない。
旅行代理店(所長)	来客数の動き	・11月後半の連休を過ぎて、客足は著しく下降している。訪日外国人はそこそこ来ているようだが、日帰り客がほとんどで、滞留時間が大変短い。
タクシー(経営者)	お客様の様子	・夜の店の動きが悪く、前年同月と比べて10%の減少である。

	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・不動産関連では新築戸建て市場の縮小傾向が続いており、契約数が少なくなってきた。
	通信会社（総務担当）	来客数の動き	・毎月来客数が減っている。例年なら12月は増加するが、今年はそれもない。
	通信会社（局長）	お客様の様子	・来客数は増えているが、本来は銀行引き落としがクレジット払いの客が、残高不足で支払にきている状況である。
	ゴルフ練習場（経営者）	単価の動き	・高額品が売れなくなっている。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数はそれほど変化はないものの、購入単価が徐々に落ちてきている。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・いざなぎ景気を抜いて、今の好景気は続いているのは0.03%にも満たない富裕層だけだろう。国民の不満を見誤り既定路線として消費税増税を強いる首相は、仏大統領のようになるかもしれない。
	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・消費税増税に向けて、客の動向が左右されてきたが、増税に対する消費の減速防止案が決まり、客が静観して増税前に購入するかを決めかねている。
	× 衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・暖かい日が続いたために、冬物重衣料など高単価の商材が動かず、来客数も少ない。
	× 一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ボーナスも支給され、クリスマス、忘年会など動く要素はあるものの、例年になく動きが鈍い。また、単価も低くなり、盛り上がり欠けている。
企業 動向 関連 (北関東)	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年10～12月の3か月と比べて、20%の売上増となっている。人手が足りないくらい受注量が増えている。
	その他製造業 [環境機器]（経営者）	受注量や販売量の動き	・本業の主要3部門のうちの1部門である、当社開発のスプレー缶、ガス缶、ライター等の処理装置が、札幌のガス爆発事故等により行政、業界からの引き合いが多くなっている。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8～9月に比べて、今月の売上は2割増しである。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注量、販売量の動き、取引先の様子がまずまずである。今のところは良い方向である。
	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事中心で売上の95%を占めている建設業を営んでいる。現政権誕生後、公共工事は順調に推移している。何しろ前政権時は、「コンクリートから人へ」のキャッチフレーズで大変苦労した。当時は政治の不信感を抱いた。政治は重要であることを政治家には真剣に考えてほしい。自然災害が頻発しているなかで、災害復旧等を考えた場合、建設業は不可欠であると自負している。現状、建設業は超高齢化が進み労働者不足である。魅力ある業種にならないと、労働者不足は解決できない。公共工事は現政権のおかげで、今期発注は前年比18%増と好調で、当社も前期比10%増となっている。
	その他サービス業 [情報サービス]（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に増加傾向にある。引き合いも増加しているが、来年の消費税増税に伴う予算取りの影響かもしれない。
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一時的に受注量は増加しているが、例年の傾向である。稼働が上がっているが特段の上がり方ではなく、変わらない。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・繁忙期に入っている。
	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・油圧ショベル向けの仕事が堅調な上、ロボット向けの新規引き合いが特に増加している。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・状況は変わらない。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・年末年始に向かい、暖房家電や毛布、寝具などは、インターネット通販向けの物量も多い。また、ホームセンターなどの初売り商材、特に白物家電などは全般的に前年を10%上回る状況である。ドライバー不足による車両確保に苦労している。

	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・広告宣伝の出稿数が、12月の割には通常月より増えていない。
	社会保険労務士	取引先の様子	・このところ目立った動きがほとんどなく、良くなっているという声もない。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車の北米輸出が84か月、前年超えとなっているものの、自動車メーカーの不正検査問題により、国内販売及び生産は減産となっている。
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・取引先への改修提案の実行率が悪く、見積り等で動いた費用分の回収ができていない。
	x	-	-
雇用 関連 (北関東)	職業安定所（職員）	求人数の動き	・業種を問わず、「受注はあるのに人手不足で断っている」という話や、「人手不足で直接雇用したいが賃金を上げても集まらないため、仕方なく派遣で雇っている」という企業が多くみられる。
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・年末年始に向けて、特に、電機、機械、電子等の製造業は安定雇用もあつたが、募集はごく少ない。住宅関連は、駆け込みかもしれないが、増改築、新築等が目立っている。生鮮食料品等も安定し、クリスマス商材、正月準備品等の伸びは目立っている。
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・景気は悪くはないが、良くもない。3か月前と余り変わらない。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求人に対して、条件をクリアする求職者数が常に不足しているという状況に変わりはない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前の新規求人数及び有効求人数を見ると、多少の増減はあるものの、ほぼ変わらない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前と比べて、新規求人数は8.3%の減少、有効求人数は3.5%の増加となっている。有効求人倍率は、ポイントの増減はなく、2.04倍となっている。
	学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・相変わらず、雇用形態では正社員求人が例年より多い。しかし、学歴や学部学科などによって、求人に応募できるかを判断される場合もあると感じている。
	人材派遣会社（管理担当）	求職者数の動き	・年末の求職者数は、例年と比較して少ない。正社員希望者が多く、派遣の求職者は少なくなってきた。
	x	-	-